

あなたも「わたしのまちづくり」

自然と文化の森構想



平成 14 年 (2002 年)

自然と文化の森構想策定懇話会

尼 崎 市

尼崎市の北東部 かつてここには
川が育む豊かな大地と自然があった
生き物たちと共にすごした
心安らぐ暮らしがあった
子どもの頃の遊び場は川と田んぼと森だった
わくわくしたのはお祭りだった
でも田んぼや森は小さくなった
祭りのお囃子も少なくなった
その大切さに気づかなかった
川を森をお祭りを
もう一度子どもたちにも大人にも
本当の豊かさを知るように
心豊かに暮らせるように



摂津名所図会に描かれた猪名川

(出典：摂津名所図會 全二巻)

前ページの文章は、「自然と文化の森宣言」の現時点（平成14年3月）での案です。

「自然と文化の森構想」は、
猪名川と藻川に囲まれた地域とその周辺に残る自然環境や歴史・文化資源を再発見し、
それらを全市的な財産として捉え、守り、活かしながら、
市民が誇りに思い、多くの人が憩い、楽しみ、学ぶことのできる地域にするための
考え方や進め方を示したものです。

もともと、平成5年の尼崎市文化懇話会提言に始まり、
尼崎市文化振興ビジョンで「自然と文化の森整備構想の策定」が位置づけられ、
平成9年度から市制80周年記念振興事業として取組を開始し、
その後、市民と行政などの協働により、構想策定に向けた活動に取り組んできました。
平成13年度には、市民、地域住民、学識経験者、関係機関からなる
「自然と文化の森構想策定懇話会」を設置し、
公開方式の会議とすることで、地域の方々と共に考え、話し合い、
この「自然と文化の森構想」を策定しました。

この構想では、「共有」という言葉を大切にしています。
自然や歴史・文化など、まちの持つ「宝」の大切さや価値を、
多くの方々が共有し、未来の地域の姿を語り合い描きながら、
その実現に向けて共に取り組み、その「宝」にさらに新しい価値を加え、
未来へ引き継ぐための方向を示しています。

この構想には、話し合いや活動を通じて、どなたでも、いつでも参加できます。

これから、「自然と文化の森宣言」を、
みんなで宣言できることを目指して、共に取り組みましょう！

【目 次】

1. 自然と文化の森構想とは	1
2. 自然と文化の森の「夢」	3
3. 大切にしたい考え方	13
4. 構想の進め方	15
5. 構想の基本的事項	17
(1) 対象地域	
(2) 目標年次	
(3) 位置づけなど	
6. 地域のおもな魅力資源	19
地域のなりたち	
おもな魅力資源リスト	
農地・農業	
自然・森	
歴史・文化・景観等	
◇資料編	24
・ これまでの経過	
・ 「自然と文化の森を楽しむ会」とは	
・ 52の取組アイデア集	
・ 自然と文化の森構想策定懇話会	